

学校評価報告書

1学期末、2学期末の保護者懇談会の折には、「学校評価保護者アンケート」にご協力頂き、有り難うございました。1学期末、2学期末に実施した「生徒学習アンケート」と「教職員自己評価アンケート」、9月に実施した「生徒生活アンケート」の結果と併せて川北中学校の現状の分析と、今後の方策について教職員で話し合いました。

そして2月10日（水）に学校関係者評価委員会を行い、評価委員のご意見を頂きました。

— 学校関係者評価委員 —

本校育友会長、 本校育友会母親代表、 町社会教育委員長、
町教委いじめ対応アドバイザー、 校区小学校教頭代表

取組の現状と今後に向けて

- ◇県基礎学力調査・国学力学習状況調査では、全ての教科において県平均、全国平均を上回っている。今後も全学年で学力向上の取り組みを継続する。
- ◇全教員が意識して授業改善に取り組むことができおり、授業規律もほぼ確立されている。ただし、生徒が話し合い学び合う、生徒が主体となった学習はまだ十分になされていない。来年度より、新しい教科書で授業がスタートするのを機会に、話し合い活動などを充実させる。
- ◇家庭学習をする時間は、2・3年生は増加し、1年生は減少している。各家庭の協力も得ながら家庭学習習慣を確立させ、放課後の補充学習なども充実させて基礎学力の定着を図る。
- ◇地域教材の活用や、町の先生にゲストティーチャーに来て頂くなど、道徳教育を充実させることができた。次年度も道徳教育を充実させ、思いやりのある生徒の育成を目指す。
- ◇図書室の貸し出し冊数は微増を続けており、特に2年生が増加している。
- ◇人間関係の育成や、体力の向上をねらって、各教員が部活動の指導に取り組んでいる。顧問、担任、養護教諭、相談担当者が協力して、運動が苦手な生徒や、部活動での人間関係に悩む生徒の対応をより進めていく。
- ◇生徒指導上の大きな問題も起こらず、遅刻する生徒も少ない。給食の残食も少ない。教員がより連絡を密にして、学習面だけでなく悩み相談など、個々の生徒に応じた指導を継続していく。
- ◇各種便りの発行、メールでの連絡などを充実させることができた。教育委員会や、行政機関とも協力できている。今後も学校からの情報発信を充実させ、家庭、地域との連携を図っていく。

学校関係者評価委員の方から、以下のようなご意見を頂きました。

- 「楽しく学校に通っている」「授業はわかる」「部活動を頑張っている」が何より重要である。これらに対する生徒の声を大切にして、改善すべきところは改善して行ってください。
- 各学年が3クラスになり先生方の数も増えたことは、各学年の先生方が協力し合って教育を進めていくよい機会です。先生方の話し合いを大切に、協力し合って行ってください。
- 先生方が土日も返上して部活動を熱心に指導してくれることは、とてもありがたい。ただ、生徒にも先生方にも過度の負担にならないようにしてください。
- 集団生活での思いやりの心を育てることなどは、各家庭では難しい。将来の川北町がどうあるべきか、中長期的な目標を持って、学校、家庭、地域でそれぞれ何が出来るかを考えていけるといいです。

今後とも川北中学校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。